



いのち

平成 28 年 5 月 19 日 第 50 号
日立市高鈴町 1 丁目 4 番 10 号
日立メディカルセンター看護専門学校

「看護専門学校」の運営状況

学校長 小澤 興

日立メディカルセンター看護専門学校後援会の皆様におかれましては、日頃より看護教育および臨地実習で多大なるお世話になり、感謝申し上げます。

早いもので東日本大震災から 5 年が経過いたしました。あまりにも被害が甚大のため復興にはまだまだ長い年月がかかることが予想され、さらに本年 4 月 14 日に発生した熊本地震とともに被災者の方々の事を思うと心が痛む思いでございます。

しかし、明るいニュースもあります。3 年後には茨城で国体が開催され、さらに 4 年後には日本で半世紀ぶりに東京オリンピックが開催されることになっております。

さて、当看護専門学校は専修学校の許可を受け、本年で 9 年目に入りますが、平成 27 年度までの 5 年間の運営状況について報告させていただきます。

(1) 看護学科

昭和 48 年日立メディカルセンター看護学院開校以来 43 年が経過し、平成 27 年度は第 41 回生 43 名が卒業し、合計 1517 名の卒業生を送り出しております。臨地実習は日立製作所日立総合病院、日立製作所多賀総合病院、大原神経科病院、県北医療センター高萩協同病院、茨城キリスト教大学付属聖児幼稚園等の協力により実施することができました。

看護師国家試験の最近 5 年間につきましては、平成 23 年度卒業生 37 名中 37 名合格と、前年とこの年は合格率 100%でありました。平成 24 年度卒業生 27 名中 24 名が合格で、全国平均と同じでした。平成 25 年度は卒業生 39 名中 32 名合格、平成 26 年度卒業生 31 名中 28 名合格と、合格率が全国平均以下で、このため国家試験対策を行い、平成 27 年卒業生は 42 名中 38 名合格と全国平均の合格率は上回りました。

(2) 准看護学科

昭和 45 年日立メディカルセンター附属看護学院開校以来 46 年が経過し、平成 27 年度は、第 45 回生 40 名が卒業し、合計 2022 名の卒業生を送り出しております。

臨地実習は、日立製作所多賀総合病院、社会医療法人ひたち医療センター、日鉦記念病院、日立梅ヶ丘病院、聖麗メモリアル病院、村立東海病院等の協力で実施することができました。

准看護師資格試験は、平成 23 年度卒業生 40 名中 39 名の合格でしたが、平成 24 年度卒業生は 41 名中 41 名、平成 25 年度卒業生 39 名中 39 名、平成 26 年度卒業生 41 名中 41 名、平成 27 年度卒業生 40 名中 40 名と 4 年連続で 100%の合格率であります。

(3) 入学試験

当看護専門学校の平成 28 年度の入学試験について報告します。看護学科は「本校自己推薦枠」「地域特定推薦枠」で受験者 26 名中 26 名合格、「一般入学試験」で受験者 16 名中 16 名が合格し、最終的に合計 38 名が入学致しました。

准看護学科は、「指定校推薦枠」「地域特定推薦枠」で受験者 42 名中 15 名、「一般入学試験」では受験者 50 名中 24 名が合格し、最終的に 39 名が入学致しました。

(4) 茨城県地域看護職員再就業支援事業

県北地域の看護師不足対策のため、在宅看護師の職場復帰を支援するため、「看護職再就業支援事業」を学校独自事業として平成 20 年当看護専門学校開設時から実施し、再就業に寄与しておりましたが、平成 26 年からは県の委託事業として看護職員再就業に取り組みました。平成 26 年度は講義研修 3 名、講義研修→実務研修 2 名が終了し、3 名が就業いたしました。平成 27 年度は講義研修のみ修了者 1 名で 1 名が就

業、講義研修→実務研修→試用研修 2名で1名就業、試用研修のみで修了者4名が全員就業しており、再就業に寄与しております。

以上、当看護専門学校の5年間の運用状況をご報告させていただきました。後援会総会にあたり、後援会の皆様には看護教育および臨地実習等でのご支援協力をお願いし、後援会の益々の発展を祈念いたします。



入学して思うこと

准看護学科 1年

実際に現場で働きながら学べるという点に対して一番の魅力を感じ、私は日立メディカルセンター看護学校に入学を希望しました。入学式前に何度か病院に出勤し、仕事をしましたが何の医療知識も身に付いていないため分からないことがたくさんありました。医療機器の名前や場所、患者さんとの接し方など毎日学ぶことが多く生涯学習の仕事と言われているということが実感できました。そして、何よりも強く感じたことは、同じ職場で働く看護師の先輩方を見て、自分も立派な看護師になりたいと以前より思うようになりました。

入学して約一週間ほどたち、授業も始まりました。自分が一番学びたかった事を、同じ看護師を目指す方々と一緒に勉強することがとても嬉しいです。ナイチンゲールについての本を小学生の時に読んだことがあります。看護師を目指すようになった今、改めてどんな人物だったのかを詳しく知ると、そのすばらしさに圧倒されました。自ら学ぼうとする気持ち、人を助けるための行動力、適切な判断などすべてが看護師のお手本だと思いました。

私の目標は、「患者さんの心に寄り添った看護ができる看護師」です。確かな医療の知識や技術を身につけるのはもちろんですが、病は気からというように心のケアまでしっかりできるよう、これからの5年間で夢に向かって全力で頑張っていきたいです。



入学して思うこと

看護学科 1年

准看護学校を卒業してから、病院勤務をして今年で4年目になりました。就職した頃から進学を考えていました。自分の環境が一段落してから現場における仕事を経験しながら学べる当校へ入学したいと思っていました。

今年の4月7日に入学式を終え、現在は新たに始まる学校生活に楽しみや期待をもつと同時に不安も大きく持つようになりました。准看護学校を卒業し4年病院で働いているとはいえ知識はついていけるだろうか、友達はあるだろうか、家が遠い為通学は大丈夫だろうかと沢山の不安が毎日の様に頭をよぎります。

しかし、支えてくれる家族や職場の先輩や同僚に励まされ、背中を押され頑張っていかなければならないと毎日、気合を入れています。

自分が進みたいと希望し叶った夢であるので、後悔しない様に努力し、学校生活を過ごせる様にと考えています。日立メディカルセンター看護専門学校卒業生や在学学生から話を聞くと臨地実習が始まると「大変なんだよ」とか、「寝れないんだよ」とか沢山の不安になる様な事を言われます。しかし、それを乗り越えてきた先輩方はとても素晴らしく、実際に同じ病院で働いている姿を見て私も頑張る卒業し、立派な看護師になれたら良いなと思っています。入学してからの勉強は、今までの准看護学校での学びの応用をしながらより一層詳しい知識も学んでいくと思うので、基礎知識を復習し、応用できる様にしていきたいです。また勤務では患者に

対して丁寧語を使えない事が良くあります。今から言葉づかいに気をつけたいです。特に実習では学生らしい態度と服装・言葉づかいに気をつけるようにして、多くの学びを得たいと思っています。

私の理想の看護師像は患者の立場で物事を判断し、苦痛のない入院生活を送れる様に傾聴することができることです。そして、退院される患者に対しては退院後の不安まで取り除ける、家族を含めた患者主体の看護をしていける事が出来る看護師・人間になりたいです。理想に近づける様、努力したいです。